

食品寄付活性化による食品ロス削減を目指して

バトンProjectは、鈴鹿高専の学生が「食品ロスを削減したい」と立ち上げた学生団体です。

現在の日本では、1か月に1人あたり3.5kg^{※1}もの食品ロスが発生しています。中にはまだ食べることのできる食品もたくさん含まれています。そこで、私たちは食品寄付を活性化することで食品ロスを削減できるのではないかと思います。三重県鈴鹿市を中心に活動を行っています。

バトンと名付けたプロジェクト名には、「私たちが食品寄付のバトンの輪をつなぎたい」という思いが込められています。

※1 消費者庁 食品ロス削減関係参考資料(令和5年6月9日)より

Activities description

データベースサービスを、バトンProjectのウェブサイトにて公開・提供しています。

食品を受け取られる方々の情報がまとめられ、食品寄付をされる方が寄付先を探す・連絡する際に役立つだけでなく、寄付の透明性の向上を図り、食品寄付に対するやりがいを感じていただけるようにするねらいがあります。

データベースはどなたでも閲覧できます。

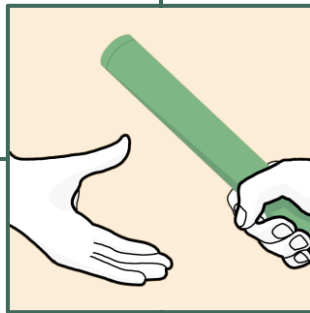
データベースサービス

団体名	代表者名	住所・活動拠点	メールアドレス
一般社団法人 みんなにこ	西村 忠祐	三重県四日市市 笠川	miniko325@gmail.com
一般社団法人 フードバンクすずか	寺田 寛	三重県鈴鹿市 矢場1丁目13-21	info@fb-suzuka.org
バトンProject	渡辺 魅珀	三重県鈴鹿市	contact@bton.site

バトンProjectでは、主に生産者の方々にお声がけし、まだ食べられるが捨ててしまうという食品の寄付をお願いさせていただいています。

いただいた食品は、フードバンクや子ども食堂などに様々な形でお渡ししています。

さらに、生産者の方々にはフードバンクや子ども食堂を紹介することで、直接寄付していただける環境の構築を目指しています。



バトンProjectは、上記のSDGsに貢献します。食品は作るのにも廃棄するのにも大量のエネルギーが用いられており、これは地球温暖化などの問題を引き起こしています。

一方で、日本全体の約15%^{※2}、ひとり親家庭の約半分^{※3}が相対的貧困と呼ばれ、物価高騰などの影響で食品を買うことも困難となっています。

私たちの活動によって、食品を無駄にせず、必要とする方々の元に届けられる世の中になると信じています。

※2 OECD Poverty rate(2021)より

※3 男女共同参画局 共同参画(2019年2月)より



バトンProjectのメンバーで、積極的にフードバンクや子ども食堂などの活動を見学・参加させていただいています。

ただ食品をお渡しするだけでなく、お渡しした食品がどのように活用されるのか、食品を受け取られる方々はどのような様子かなどを私たちの目で把握するよう努めています。

また、活動内容などをまとめて、ウェブサイトやSNSで発信させていただいています。

Poster

ポスターセッションにてご覧いただいたポスターは、こちらのQRコードからもご覧いただけます。



Links

各種SNSにてバトンProjectの活動内容の紹介を行っています。ウェブサイトでは、これらに加えて活動実績の記録・データベースサービスの提供も行っています。ぜひQRコードよりご覧ください。

ウェブサイト



Facebook



X(旧Twitter)



Instagram

